

STT054-P04

会場: コンベンションホール

時間: 5月24日 14:00-16:30

人工衛星光学センサ画像による 2010 年メキシコ・El Mayor (Baja California) 地震 での地殻変動抽出 Coseismic Displacement Measurement of The 2010 El Mayor, Mexico Earthquake Using Satellite Optical Images

松岡 昌志^{1*}, 児玉 信介¹

Masashi Matsuoka^{1*}, Shinsuke Kodama¹

¹ 産業技術総合研究所

¹ AIST

Terra 衛星の ASTER および ALOS 衛星「だいち」に搭載されている PRISM は、異なる観測角を有する画像を同時に取得することができ、このステレオペア画像から地形の倒れこみの影響を除いた正射（オルソ）画像を作成することができる。地殻変動が起こる前後のオルソ画像を比較することで水平方向の地殻変動に関する情報を抽出することが可能である。本研究では、2010 年 4 月 4 日にメキシコの El Mayor (Baja California) で発生した大地震に伴う地殻変動の面的分布を推定するために、2005 年 4 月 15 日と 2010 年 4 月 13 日（日本時間）に観測した ASTER データおよび 2009 年 9 月 14 日と 2010 年 5 月 2 日（日本時間）に観測した PRISM データのそれぞれのペアについてピクセルオフセット解析を行った。この解析結果から、震央から北西方向に延びた右横ずれ成分の断層が見られ、数 m の地殻変動があることを明らかにした。今後、現地調査データや他の解析結果との比較検証を行う予定にしている。

キーワード: ピクセルオフセット, 地殻変動, 人工衛星光学センサ, Terra/ASTER, ALOS/PRISM, 2010 年バハ地震

Keywords: subpixel correlation, crustal displacement, satellite optical sensor, Terra/ASTER, ALOS/PRISM, the 2010 Baja California earthquake